

## 第27期第3回常任理事会議事録

日時：1992年12月17日

場所：気象庁内気象学会事務局

出席者：浅井、岩崎、小倉、木田、関口、竹内、中村、  
新田、藤谷、松野、以上10名

### 1. 報告事項

(1) 第27期第2回常任理事会議事録の確認

一部修正のうえ承認。

(2) 各委員会からの報告及び審議

庶務……転載許可（気象集誌） 1件

・個人会費請求は12月1日完了

・次回常任理事会……2月3日、  
13時30分～15時30分  
気象学会事務局

・評議員会……2月3日、  
16時00分～18時00分  
千代田区立産業会館

・エチオピア気象局の気象集誌寄贈希望については、財政負担が可能となったときには日本気象学会会員となることを条件として1993年から寄贈することとした。

会計……1991年11月の収支計算報告

・第2回常任理事会に提案された「大会運営について(案)」の修正案が報告され承認された。「天気」1月号で参加費の納入の仕方を周知することとした。

天気……12月号の内容、1月号の目次及び2月号、  
3月号の予定を報告

気象集誌……70巻の発行状況について報告

気象研究ノート……年度内刊行の予定報告

教育と普及……1993年度の夏季大学は8月上旬に気象  
研究所で行う予定

テーマ：気候に関する地球環境(仮題)

奨励金・各賞……奨励金候補者募集要項の天気掲載案  
が報告された。

学会賞・藤原賞……候補者の募集について天気掲載が  
遅くなったが1月号に募集案内をだすこととした。

山本・正野論文賞……「天気」2月号に推薦依頼を掲  
載する。全国理事にも1月末に推薦を文書で依頼する。

国際学術交流……1992年度下半期の研究会助成者：

2名の報告

・助成金額については15万円を上限とし、その都  
度委員会で決める。

IAMAP……合同国際会議の募金趣意書は12月21日  
に出来る予定。榎根実行委員と理事長  
が募金について経団連に説明をし協力  
をお願いした。

パソコン通信……11月の着信件数：309件

(3) 会員の新規加入等について

個人7名、団体1の入会を承認。個人1名の退  
会の報告

(4) 理事体制の見直しに関する定款の改正について  
改正案について方針が承認され文部省と調整す  
ることとした。

(5) 評議員会の議題について

学会を取り巻く近況について理事長が報告す  
る。財政・事業及び活動状況などの説明資料を  
前回にならって作成する。  
評議員の意見発表の時間を多くするようにプロ  
グラムを考える。

(6) 1993年度計画案・予算案について

3月の常任理事会までに最終案とするように各  
担当でさらに検討する。

(7) その他

1) 学術団体の調査について（日本学術会議第4常  
置委員会）

細目について検討を行い、木田理事が調査表を  
まとめることとした。

2) オーストリア気象・海洋学会からの交流申し入  
れについて

情報や若手研究者の交流を通じて両学会のより緊密  
な協力関係を築いて行きたい旨の理事長名の返信書簡  
を送付した。当面、秋の海洋学会と気象学会共催シン  
ポジウムへのオーストラリアからの参加についてシン  
ポジウム担当事務局が折衝する。

3) 事務局員の任期について

1993年度の事務局員の構成について意見の交換  
を行った。